

## 平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ  
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩

TEL 052-249-3504

四半期報告書提出予定日 平成27年10月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	6,163	△3.4	170	—	124	—	84	—
27年5月期第1四半期	6,379	△7.5	8	△96.0	△70	—	△81	—

(注) 包括利益 28年5月期第1四半期 95百万円 (—%) 27年5月期第1四半期 △65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	57.60	—
27年5月期第1四半期	△55.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第1四半期	18,765	4,672	23.8	3,040.22
27年5月期	18,545	4,576	23.6	2,982.55

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 4,460百万円 27年5月期 4,375百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	5.0	490	—	310	—	230	—	156.76
通期	31,170	13.6	1,040	—	690	—	530	—	361.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年5月期1Q	1,480,000 株	27年5月期	1,480,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年5月期1Q	12,800 株	27年5月期	12,800 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期1Q	1,467,200 株	27年5月期1Q	1,467,200 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における東海地域の経済は、新興国経済の先行き不透明感を抱えながらも着実に回復を続けており、輸出は海外経済が緩やかに回復する下で緩やかに増加し、設備投資は大幅に増加しました。また個人消費は、雇用・所得環境が改善する中、持ち直してきました。

不動産業界においては、名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いておりますが、消費税引き上げにより需要が大幅に低下した住宅市場では、省エネ住宅ポイント制度の新設や住宅取得関連税制の優遇等の支援策に下支えされながらも、需要の本格的な回復には至りませんでした。

このような状況下、当グループの主力事業である分譲住宅事業では、長期化した在庫の処理を進める一方で、事業工期短縮とコストダウンを最重要課題に位置づけ、そのための部門横断的な取り組みを強化しました。また、集材製造・プレカット加工を行う岐阜工場を中心とした建設資材事業では、厳しい価格競争にある集材材市況において適正な受注確保に努めるとともに、オリジナル建材の種類と生産量を増やす取り組みを進めてまいりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売を主力事業とし、住宅建設資材の製造・販売も行っております。前年同期と比べ、新発売した戸数が減少したことと集材材の販売量が減少したことを主因として売上高は減少しましたが、岐阜工場の収益性が改善したことを主因として利益率は向上しました。売上高は4,782百万円(前年同期比9.3%減)、セグメント利益は21百万円(前年同期比190.9%増)となりました。

#### ② AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は433百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益は115百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

#### ③ その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。保有していた収益型不動産を計画どおり売却したことにより、売上高は971百万円(前年同期比43.7%増)、セグメント利益は163百万円(前年同期比612.8%増)となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,163百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益は170百万円(前年同期は8百万円の利益)、経常利益は124百万円(前年同期は70百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円(前年同期は81百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、有形固定資産が減少したものの、たな卸資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して219百万円増加し、18,765百万円となりました。

#### ② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して124百万円増加し、14,092百万円となりました。

#### ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して95百万円増加し、4,672百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月10日付の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分か非支配株主持分への表示の変更を行っております、当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,812,647	2,906,011
完成工事未収入金	12,765	63,219
売掛金	440,269	302,785
販売用不動産	6,002,124	5,234,443
仕掛販売用不動産	3,944,770	5,434,214
商品及び製品	328,501	463,277
未成工事支出金	872,271	1,224,906
原材料	360,955	252,944
仕掛品	45,257	49,853
その他	695,412	544,926
流動資産合計	15,514,976	16,476,582
固定資産		
有形固定資産	2,594,548	1,869,831
無形固定資産	149,136	138,260
投資その他の資産	286,379	280,343
固定資産合計	3,030,064	2,288,435
資産合計	18,545,040	18,765,017
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	983,299	1,034,176
買掛金	205,900	201,377
1年内償還予定の社債	369,000	369,000
短期借入金	4,836,499	5,412,905
1年内返済予定の長期借入金	2,473,715	1,262,218
未払法人税等	121,393	38,886
賞与引当金	67,255	42,743
完成工事補償引当金	181,820	164,914
その他	760,102	536,646
流動負債合計	9,998,987	9,062,867
固定負債		
社債	188,000	151,200
長期借入金	2,626,847	3,832,122
退職給付に係る負債	638	638
役員退職慰労引当金	123,300	124,923
資産除去債務	15,762	15,773
その他	1,014,884	904,990
固定負債合計	3,969,432	5,029,647
負債合計	13,968,420	14,092,515

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	3,835,758	3,920,267
自己株式	△20,879	△20,879
株主資本合計	4,373,911	4,458,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,081	2,194
その他の包括利益累計額合計	2,081	2,194
非支配株主持分	200,627	211,886
純資産合計	4,576,620	4,672,502
負債純資産合計	18,545,040	18,765,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	6,379,018	6,163,663
売上原価	5,691,188	5,313,833
売上総利益	687,830	849,830
販売費及び一般管理費	679,627	679,143
営業利益	8,202	170,687
営業外収益		
受取利息	37	63
受取手数料	4,199	4,854
その他	5,945	11,863
営業外収益合計	10,182	16,781
営業外費用		
支払利息	79,603	56,942
その他	9,767	6,344
営業外費用合計	89,370	63,286
経常利益又は経常損失(△)	△70,985	124,182
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△70,985	124,182
法人税等	△4,718	28,414
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66,267	95,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,538	11,259
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△81,806	84,509



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66,267	95,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297	113
その他の包括利益合計	297	113
四半期包括利益	△65,969	95,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,508	84,622
非支配株主に係る四半期包括利益	15,538	11,259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	5,273,419	456,138	649,459	6,379,018	—	6,379,018
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	26,354	26,354	△26,354	—
計	5,273,419	456,138	675,814	6,405,372	△26,354	6,379,018
セグメント利益	7,319	120,059	22,947	150,326	△142,123	8,202

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△142,123千円には、セグメント間取引消去2,015千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144,138千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	4,780,342	432,590	950,730	6,163,663	—	6,163,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,944	700	20,543	23,188	△23,188	—
計	4,782,286	433,291	971,274	6,186,852	△23,188	6,163,663
セグメント利益	21,288	115,483	163,562	300,334	△129,647	170,687

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△129,647千円には、セグメント間取引消去5,627千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,274千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。